

松梅校道徳通信

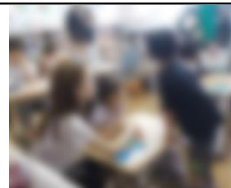
令和7年6月19日
文責：伊藤

ふれあい道徳を行いました！

6月8日（日）のフリー参観デー。各学年で「ふれあい道徳」がありました。どの学年も保護者の皆様にもご参加いただき、教室にいる全員でそれぞれのテーマについて考えました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

【小学部1年生】 「きをつけて」（A(3)節度・節制）

生活科で見つけた通学路の標識を使い、標識の意味について考えました。その後、保護者の方と一緒に、自分の家の周りはどうかな？安全に過ごすためにはどうすればいいかな？と確認しました。



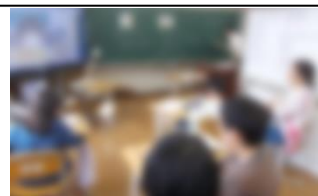
【小学部2年生】 「おれたものさし」（A(1)善悪の判断・自律・自由と責任）

自分のしたことを友達のせいにするという内容の題材に取り組みました。「自分だったら？」と主人公の立場になって「どうしたら正しいことができるだろう？」とみんなで考えました。



【小学部3年生】 「ゆうすけの朝」（A(3)節度・節制）

規則正しい生活について、気を付けていることを話し合いました。その後、保護者の方と一緒に今できていることを確かめながら、これからの生活について考えました。



【小学部4年生】 「いっしょになって笑っちゃダメだ」（A(1)善悪の判断・自律・自由と責任）

クラスでからかわれている友達を主人公と一緒に笑ったり、からかったりしていたが、いじめかもしれないと気づく。ダメだと気づいてもなかなか行動に移せないとき、どうしたらいいのかを保護者と一緒に考えました。



＜児童の感想から＞
・自分だったら言われてどう思うか、自分だけで考えられたいと思う。

【小学部5年生】 「心のレシーブ」（B(10)友情・信頼）

友達と仲良くするためにどうすればいいかを考えました。その後、お互いの良いところを伝え合い、保護者の方にも子どもたちの良いところを伝えてもらいました。



【小学部6年生】 「夢を語ろう」（A(5)希望と勇気、克己と強い意志）

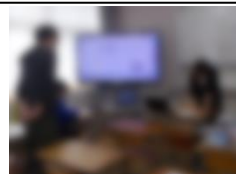
それぞれが夢を発表し、「サザンカ」のミュージックビデオを見て、夢と希望を叶えるために必要なことを話し合いました。保護者の方とも意見交流をし、考えを深めました。



＜児童の感想から＞
・人が何と言おうと、気にしないで最後まで挑戦し続けることが大事。

【小学部いきいき2】 「心のレシーブ」（B(10)友情・信頼）

友達への伝え方について考えた後、保護者の方に「子どもたちのいいところ」について、本人に伝えてもらいました。



【中学部1年生】

「私と小鳥と鈴と」(B(9)相互理解・寛容)

金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」を題材に「個性」について考えました。保護者さんも一緒に、様々なものの方についてクイズを行いながら、一人ひとりの「ちがい」を楽しみました。



<生徒の感想から>

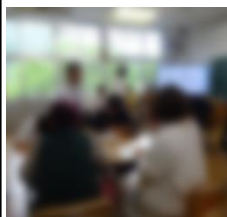
- ・みんな個性があって、一人ひとり違うけれど、それは当たり前で尊重するべき。
- ・「みんな違ってみんないい」「みんな違って当たり前」という言葉をずっと頭の中に入れておきたいです。

【中学部2年生】

「楽しいコミュニケーション」

(A(1)自主・自律・自由と責任)

LINE 上でのメッセージによるトラブルを疑似体験し、保護者さんを含めたグループでどうすればトラブルにならないかを話し合い、意見を発表しました。



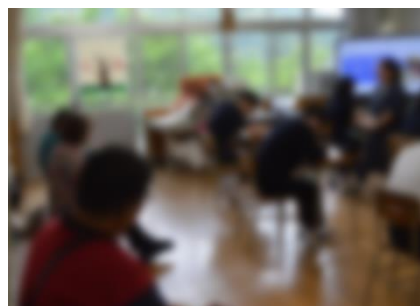
<生徒の感想から>

- ・SNSでやりとりするときには、自分が思っている意味ではなく、違う捉え方をされてしまう可能性があるのも、今後の使い方に気を付けたいです。
- ・これからは伝えたいことの誤解がうまれないようにしようと思いました。

【中学部3年生】

「避難所での出来事」(D(19)生命の尊さ)

「避難所で体調が悪くなった息子。目に見えて容体が悪化していくが、自分の車はガソリンが切れていて、周りに車を貸してくれる人もいない…」我が子の命がかかった状態でどんな行動をとるのか生徒と参観者で意見を述べ合いました。



<生徒の感想から>

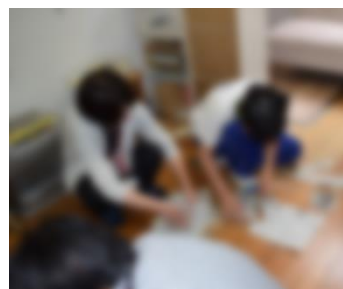
- ・自分が大切な命と相手が大切な命もあって、命を選別したくないけど、しないといけないこともあると思いました。
- ・人が最も大切にすべきなのは命だと迷わずに言えると思います。

【中学部のぞみ】

「新聞でチャレンジ!!!」

(A(2)節度・節制)

自由に破った新聞紙を保護者さんと子どもたちが協力して元の状態に戻そうと試行錯誤しながら取り組みました。



<参観者アンケートより>

- 日ごろ、家庭では話さない内容を道德の授業を通して考える良い機会になりました。親から子に対し、子どもの良いところを伝える場面があり、良かったと思います。
- つつい、こちらの価値観や綺麗な言葉を並べようとしてしまいますが、そこをそれぞれで考えていく気持ちを育むことは難しいなあと思いました。
- 対話しながら、おのおの意見を出し合いながら自分の考えを見出していくことが良かったと思います。
- 教科書だけでなく、外部からゲストを呼んでお話をしてもらったり、生の声や体験する機会があったりと良いかなと思いました。教科書だけだと、どうしても善悪のジャッジになってしまう。善悪の前に、自分が感じることを素直に感じたり、人に伝えたりできる、それを受け入れてくれる仲間がいることを道德の授業では勉強してほしい。

たくさんのご参観・アンケートへのご協力ありがとうございました！

